

霧島温泉郷丸尾地区整備計画



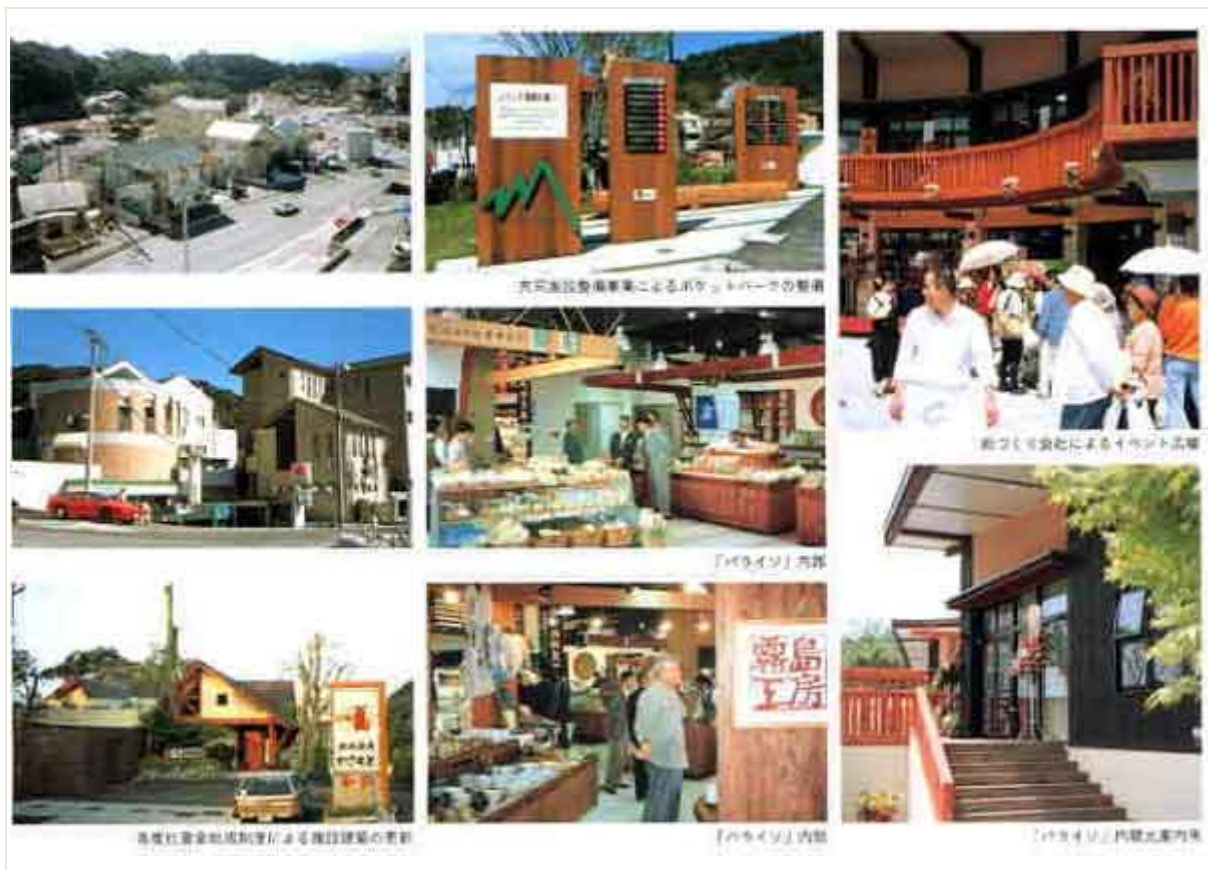
丸尾のまち並み



高尾山温泉が地産地消による観光産業の発展



まちづくり会社によるまちづくり推進計画策定



◆ 計画内容

- 雄大な霧島連峰を背景とする温泉地である丸尾地区のまちづくりは、町の中心地を通る国道改良計画を契機にスタートした。当初は町が主体となり、昭和63年に「牧園町丸尾・高干穂街並みづくり基本計画」を策定し、沿道施設整備の基本的方向を示した。これを受けて宿泊施設、飲食店の集中する丸尾地区の関係者は事業協同組合を発足させ、町・県等の支援、指導を受けながら、温泉観光地としてのまちなみのあり方や実現化方策等について検討を進めてきた。そして、小売商業商店街近代化事業の採択をうけ、平成4年より宿泊施設、店舗等の建設に着手している。また、観光地として統一のとれた美しいまちなみを実現させるため、まちなみデザイン推進事業の導入を図り、地区内の施設整備の景観的基準を定めた「霧島温泉郷丸尾地区まちづくり協定」を締結し、まちなみ景観のコントロールを行なっている。

1996年度には、事業協同組合、町、地元関係者らにより「まちづくり会社」が設立され、中心施設としての共同店舗、飲食店、イベント広場、多目的ホール、駐車場等の整備が行なわれた。国道整備とあわせたポケットパークの整備も行なわれ、周辺の河川整備等と連携したまちづくりとしての環境整備も計画されている。